



福島県内経済情勢報告

令和6年7月

財務省東北財務局
福島財務事務所


目次	ページ
1. 総論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

1. 総論

【総括判断】 「県内経済は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」









項目	前回(6年4月判断)	今回(6年7月判断)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	

(注)6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、コンビニエンスストア販売額が前年並みとなるなど、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、汎用・生産用・業務用機械が海外経済の減速の影響を受けているなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回(6年4月判断)	今回(6年7月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
雇用情勢	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	
設備投資	5年度は減少見込み	6年度は増加見込み	
企業収益	5年度は増益見込み	6年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

2. 個人消費 … 持ち直しの動きに一服感がみられる



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が堅調となっていることから、前年を上回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、デザート等が堅調となっているものの、酒類が低調となっていることから、前年並みとなっている。
- (3) ドラッグストア販売額は、日用品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、インテリア用品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、パソコン等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、一部自動車メーカーの出荷停止の影響等により、前年を下回っている。
- (7) 旅行は、国内旅行が好調となっているほか、海外旅行に動きがみられることなどから、持ち直している。

～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○飲食料品は、値上げを行っているなかでも堅調な売上げとなっているものの、物価高による節約志向から、特売日のまとめ買いが増加しているほか、嗜好品の購入頻度を減らす様子もみられる。

○高価格な衣料品では買い控えのほか、より安価なブランドへのシフトがみられる。

(百貨店・スーパー)

○デザートは、販売促進効果に加え、商品の差別化を図っていることから、売上げが増加している。

○酒類等は、より安価な販売店で購入している様子がみられ、低調となっている。

(コンビニエンスストア)

○紙製品等の日用品は、値上げを行っているものの、買い控えはみられず、売上げが増加している。

○物価高による節約志向が引き続きみられるなか、食料品の値上げ幅を抑えていることや、販売促進を強化していることから、来店客数が増加している。

(ドラッグストア)

○インテリア用品等は、生活必需品ではないことから、物価高による買い控えがみられ、低調となっている。

○農業資材等は値上げを行っているものの、買い控えはみられず、売上げが増加している一方で、日用品等はより安価な販売店で購入している様子がみられる。

(ホームセンター)

○パソコンは、巣ごもり需要の反動等により、低調が続いている。

○物価高により家電購入の優先順位が落ちているものの、足下では気温の上昇に伴い、エアコンを買い求める動きがみられる。

(家電)

○自動車の登録台数は、一部自動車メーカーの出荷停止の影響に加え、これまで登録が多かったことの反動により、前年を下回っている。

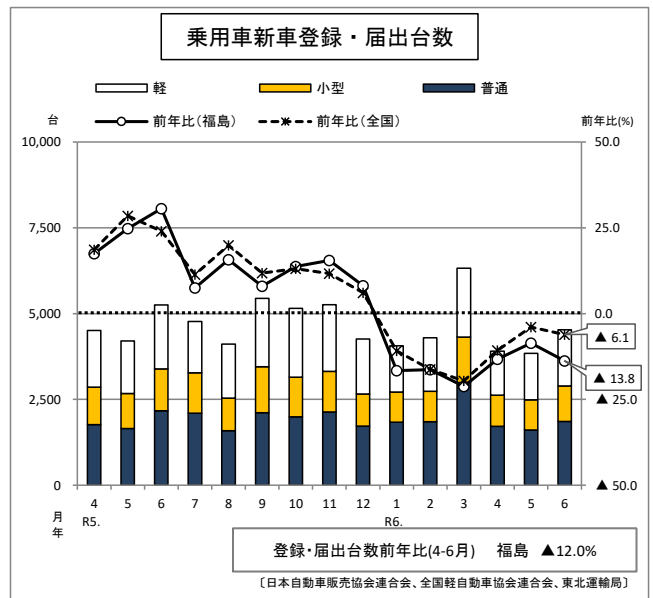
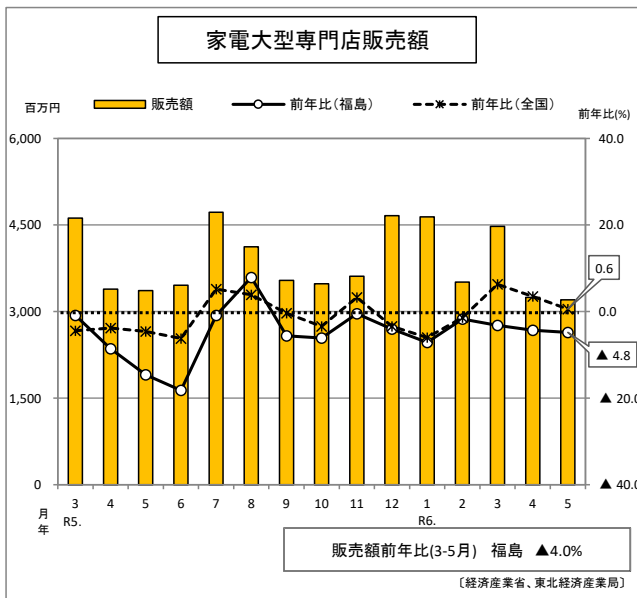
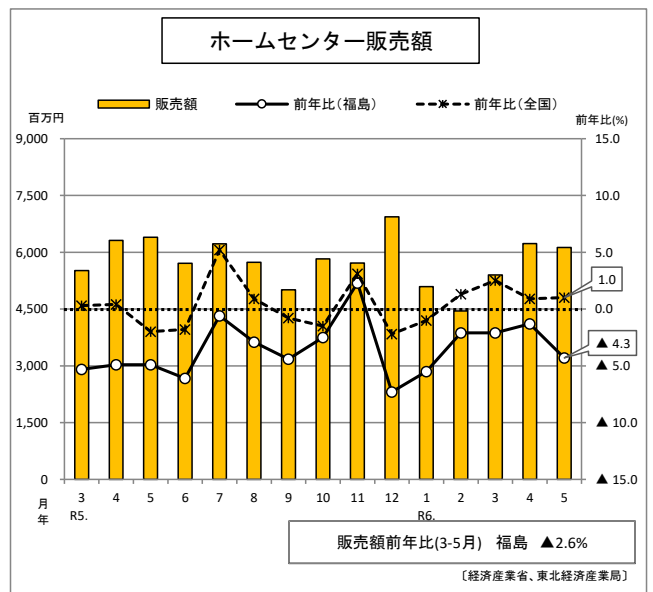
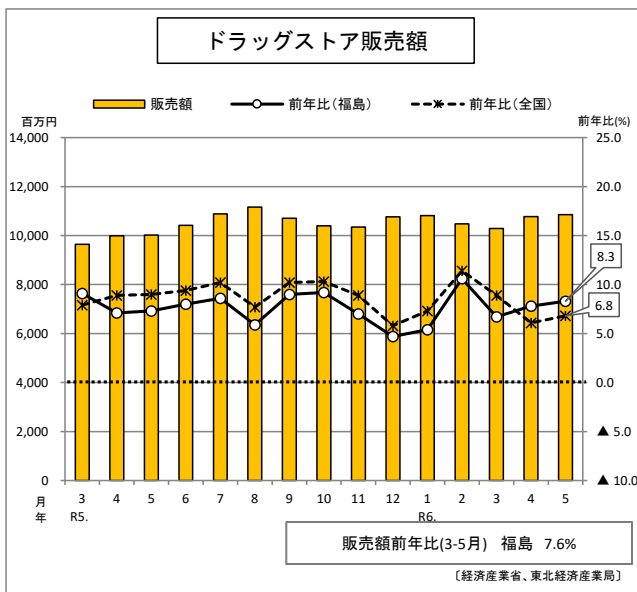
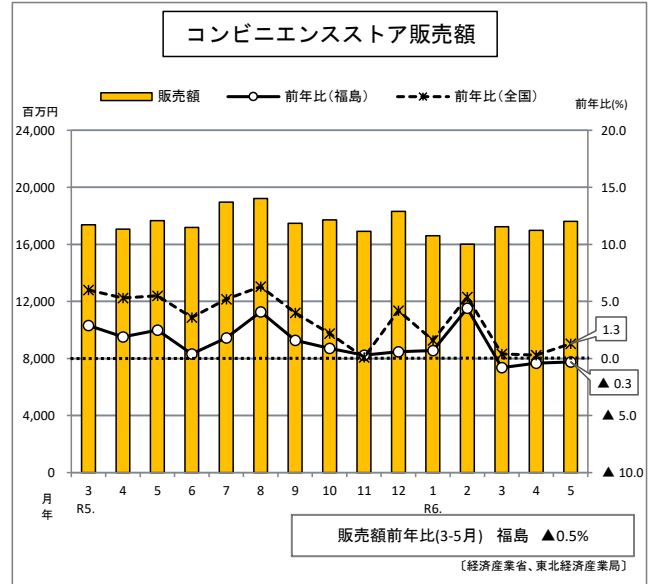
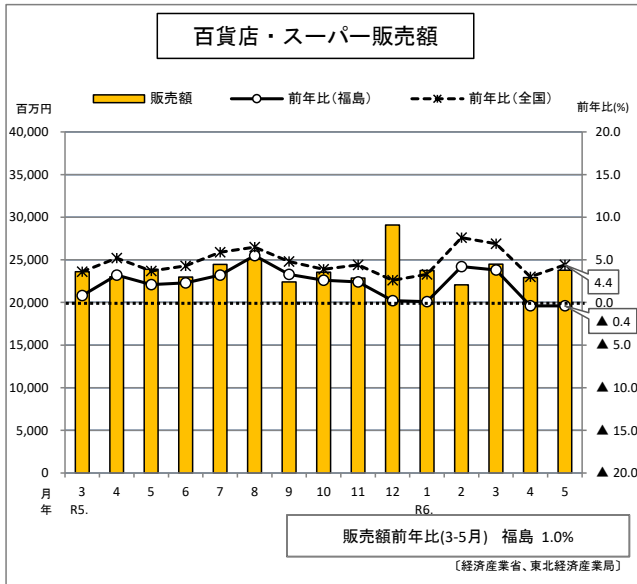
○販売価格の高騰や、一部自動車メーカーの出荷停止による消費者の購買意欲の低下を懸念している。

(自動車販売)

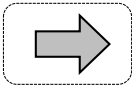
○国内旅行では旅行意欲の高い状況が続いているほか、アジアを中心に海外旅行にも動きがみられる。

○ゴールデンウィークはテーマパークなどへの旺盛な旅行需要がみられたものの、人手不足等を背景に旅行代金の値上がりが続いていることから、今後の旅行意欲の低下を懸念している。

(旅行)



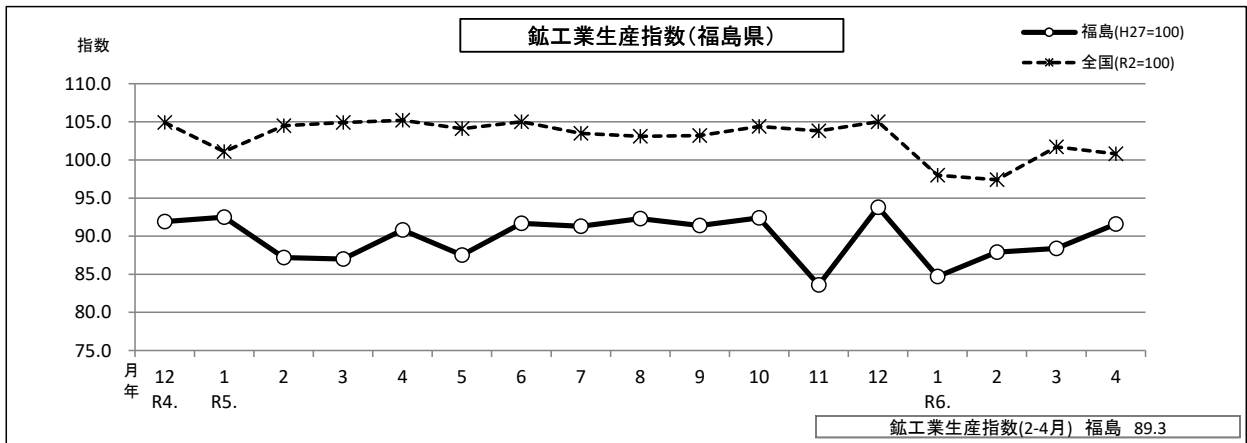
3. 生産活動 … 一進一退の状況にある



- (1) 汎用・生産用・業務用機械は、海外経済の減速等の影響により、弱含んでいる。
- (2) 輸送機械は、一部自動車メーカーの生産停止の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。
- (3) 化学は、自動車向けが堅調となっていることから、増加している。
- (4) 情報通信機械は、車載向けで動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。
- (5) 電子部品・デバイスは、スマートフォンやパソコン向けの在庫調整の進展等により、緩やかに持ち直しつつある。

～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

- 中国における設備投資需要の落ち込みなどにより、生産用機械向けの受注が減少している。
(汎用・生産用・業務用機械)
- 北米向けを中心に受注が堅調となっているほか、新製品対応も行っていることから、工場の稼働率が高まっている。
- 一部自動車メーカーの生産停止の影響により、取引先で在庫調整が行われていることから、受注が伸び悩んでいる。
(輸送機械)
- 今後、一部自動車メーカーの生産停止による影響が懸念されるものの、自動車関連の需要は堅調となっている。
(化学)
- 車載向けは、海外経済の減速等の影響による取引先の在庫調整が一巡し、持ち直しの動きがみられている。
(情報通信機械)
- スマートフォンやパソコン向けは、取引先の在庫調整の進展により底打ち感がみられている。
- データセンター向けは、生成AI関連の需要の増加を受けて受注が増加している。
(電子部品・デバイス)

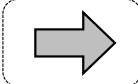


鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、H27=100)

区分	総合 (Wt=10,000)		汎用・生産用・ 業務用機械	輸送機械	化学	情報通信 機械	電子部品 ・デバイス
	指数	前年比%	1,353.9	1,170.5	1,101.7	932.6	885.6
5年	90.2	1.2	85.9	114.3	124.5	43.6	96.6
5. 4-6	90.0	-	86.6	111.5	124.5	42.5	102.6
7-9	91.7	-	85.7	123.7	126.9	44.7	96.7
10-12	89.9	-	85.9	125.5	123.8	42.6	95.2
6. 1-3	87.0	-	65.5	117.3	123.2	50.0	89.1
5. 11	83.6	▲ 8.9	85.9	108.0	102.8	41.6	92.2
12	93.8	0.2	89.4	131.0	139.4	47.2	93.2
6. 1	84.7	▲ 6.6	67.2	121.4	110.5	51.9	86.8
2	87.9	1.4	69.5	105.9	131.6	54.0	88.7
3	88.4	▲ 2.2	59.9	124.5	127.5	44.1	91.8
4	91.6	2.8	69.2	146.8	144.4	54.8	96.9
5. 11-6. 1	87.4	-	80.8	120.1	117.6	46.9	90.7
6. 2-4	89.3	-	66.2	125.7	134.5	51.0	92.5

(注) 1. 前年比は原指数。
2. 最終月は速報値。
3. 全国の5年分は年間補正後。
4. 5. 11-6. 1、6. 2-4は今回の分析上参考とした期間。
[福島県]

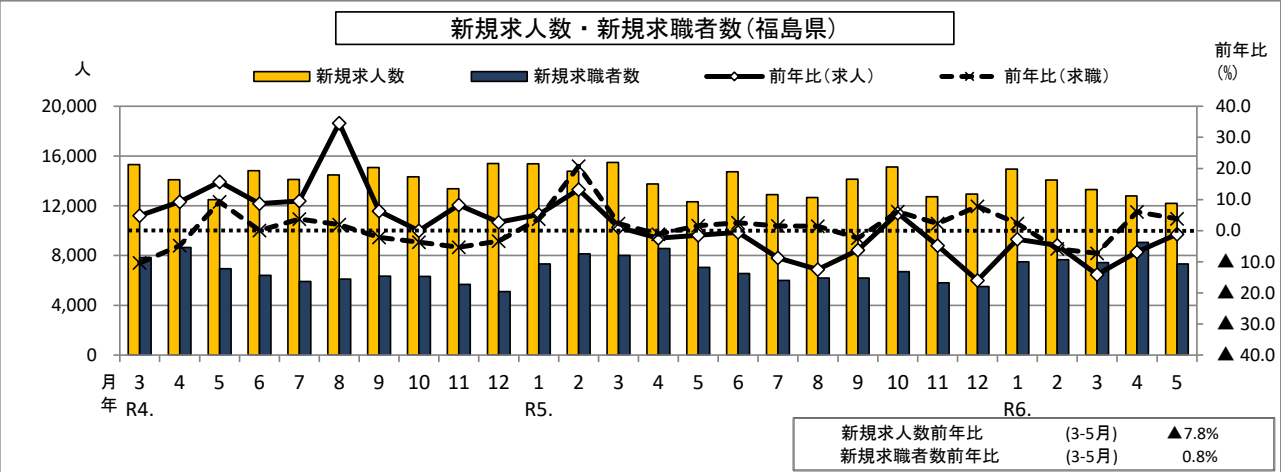
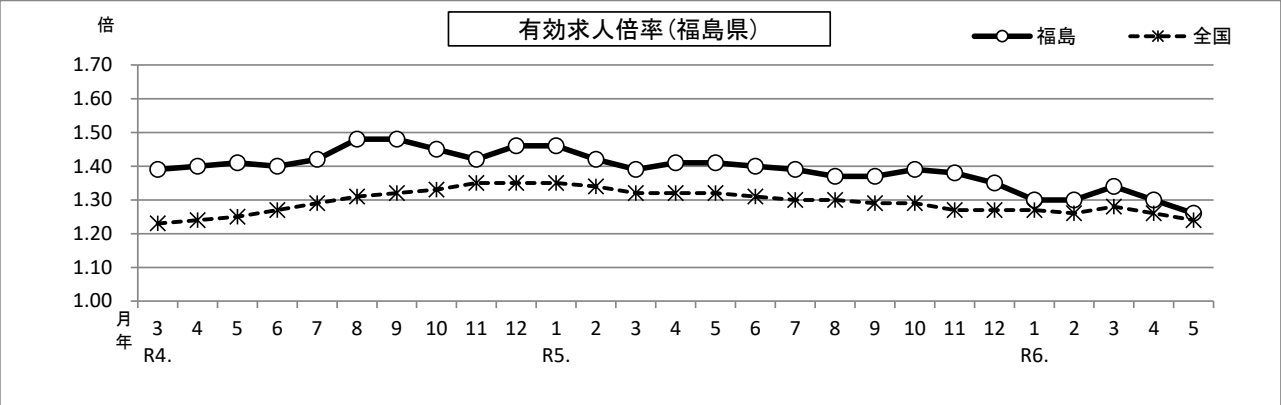
4. 雇用情勢 … 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している



- (1) 有効求人倍率は、低下している。
- (2) 新規求人数は、サービス業、建設業等で減少していることから、前年を下回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を上回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

～ 〈参考〉 ～

- 原材料価格の高騰などを背景とした企業収益の圧迫により、求人募集を行うことができない企業が増加しており、新規求人数は減少している。 (公的機関)
- 人材確保に向けて賃上げを実施しているものの、他社との競争もあり、採用に苦労している。 (非製造業)
- 人手不足を背景に人材の確保が難しくなっており、省人化投資や定年後の再雇用期間の延長を行っている。 (製造業)



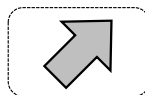
新規求人数前年比 (3-5月) ▲7.8%
 新規求職者数前年比 (3-5月) 0.8%

雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済) 倍	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
		人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
5 年	1.39	13,907	▲2.5	6,838	3.7	5,543	7.3	6,031	▲3.0
5. 4-6	1.41	13,600	▲1.5	7,391	0.8	2,026	7.7	5,914	▲3.9
7-9	1.38	13,228	▲9.1	6,130	0.1	1,014	▲6.6	6,642	▲4.4
10-12	1.37	13,593	▲5.3	6,003	5.3	1,376	38.6	6,083	2.7
6. 1-3	1.32	14,108	▲7.2	7,531	▲3.8	1,390	23.3	5,627	2.6
5. 12	1.35	12,938	▲16.0	5,500	7.8	391	42.2	5,668	1.1
6. 1	1.30	14,948	▲2.8	7,504	2.3	428	▲10.1	5,767	2.4
2	1.30	14,075	▲4.7	7,660	▲5.8	377	50.2	5,661	4.4
3	1.34	13,300	▲14.1	7,429	▲7.3	585	46.3	5,453	1.1
4	1.30	12,795	▲6.9	9,062	6.0	1,311	19.8	5,822	10.2
5	1.26	12,186	▲1.1	7,321	3.8	494	3.6	6,436	5.5
6. 3-5	-	12,760	▲7.8	7,937	0.8	2,390	21.3	5,904	5.6

(注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。 [厚生労働省、福島労働局]
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。
 3. 5年12月以前の有効求人倍率は改定値。
 4. 6. 3-5は今回の分析上参考とした期間。

5. 設備投資 … 6年度は増加見込み



法人企業景気予測調査（6年4-6月期調査）で見ると、6年度は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

設備投資

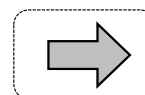
(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	(▲ 0.9)	34.9	(35.4)	58.3	(27.8)

- (注) 1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。
2. () 書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年4-6月期調査)」]

6. 企業収益 … 6年度は増益見込み



法人企業景気予測調査（6年4-6月期調査）で見ると、6年度は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。

経常利益

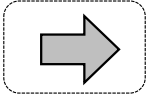
(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	(13.5)	53.4	(0.6)	▲ 3.3	(7.9)

- (注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。
2. () 書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年4-6月期調査)」]

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超幅が拡大
先行きは「上昇」超に転じる見通し



法人企業景況予測調査(6年4-6月期調査)の企業の景況判断BSIで見ると、現状(4~6月)は、全産業では「下降」超幅が拡大している。
先行きは、全産業では「上昇」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

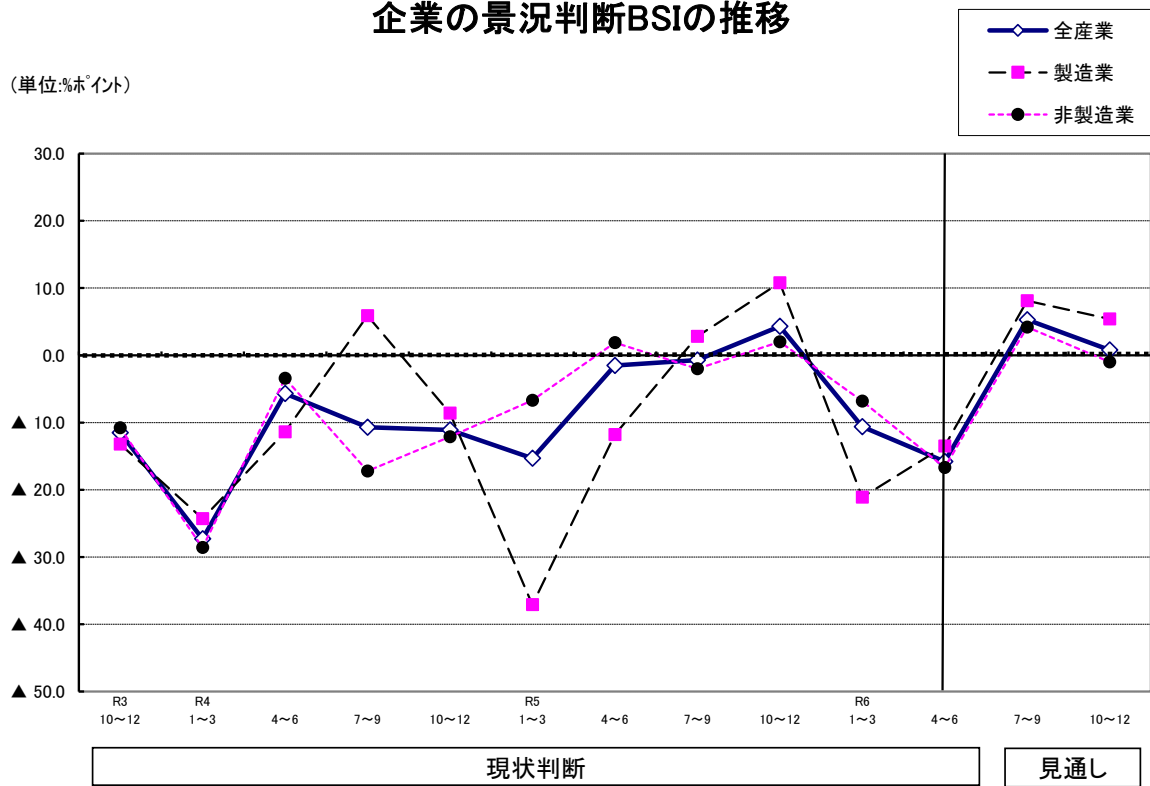
区分	6年1~3月 (6年1-3月期調査)	6年4~6月 現 状 判 断	6年7~9月 見 通 し	6年10~12月 見 通 し
全 産 業	(▲ 10.6)	(0.0) ▲ 15.8	(5.0) 5.3	0.8
製 造 業	(▲ 21.1)	(5.3) ▲ 13.5	(5.3) 8.1	5.4
非 製 造 業	(▲ 6.8)	(▲ 1.9) ▲ 16.7	(4.9) 4.2	▲ 1.0

(注) () 書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景況予測調査(6年4-6月期調査)」]

企業の景況判断BSIの推移

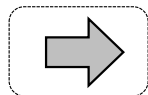
(単位:%ポイント)



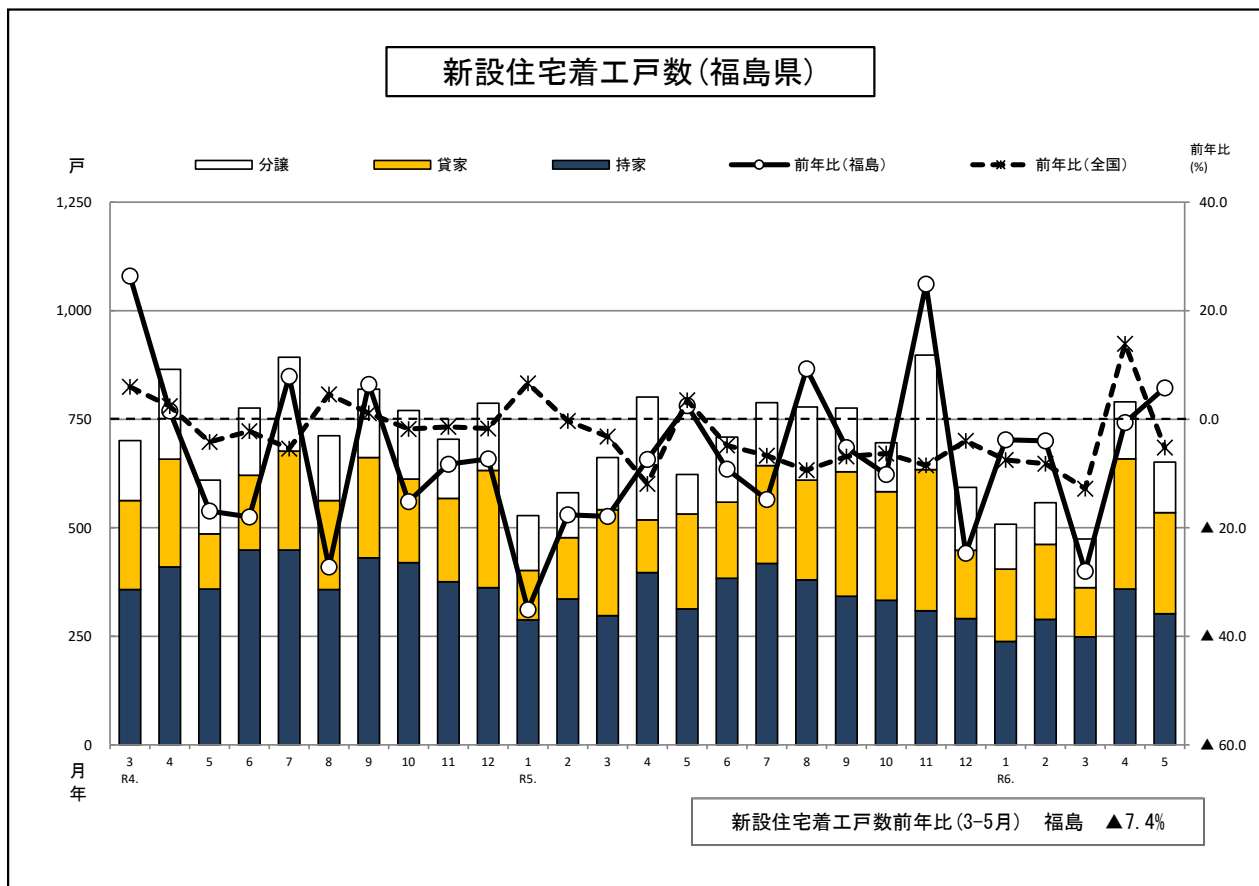
BSI (Business Survey Index) の計算法

$$*BSI = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比})$$

8. 住宅建設 … 前年を下回っている



新設住宅着工戸数で見ると、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲が前年を下回っていることから、全体としては、前年を下回っている。



新設住宅着工戸数(福島県)

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%			
5 年	8,444	▲ 9.5	▲ 11.3	3.0	▲ 12.9
5. 4-6	2,135	▲ 5.4	▲ 10.2	▲ 5.9	7.8
7-9	2,344	▲ 4.6	▲ 7.9	11.7	▲ 11.9
10-12	2,189	▲ 4.2	▲ 19.4	11.9	16.3
6. 1-3	1,547	▲ 12.9	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 11.1
5. 12	595	▲ 24.7	▲ 19.6	▲ 41.9	▲ 6.5
6. 1	510	▲ 3.8	▲ 17.4	46.5	▲ 18.3
2	559	▲ 4.0	▲ 14.0	22.7	▲ 7.7
3	478	▲ 28.0	▲ 16.4	▲ 53.7	▲ 6.7
4	796	▲ 0.6	▲ 9.6	147.9	▲ 53.7
5	661	5.8	▲ 3.5	6.4	27.5
6. 3-5	1,935	▲ 7.4	▲ 9.7	10.6	▲ 27.3

(注) 6. 3-5は今回の分析上参考とした期間。

[国土交通省]

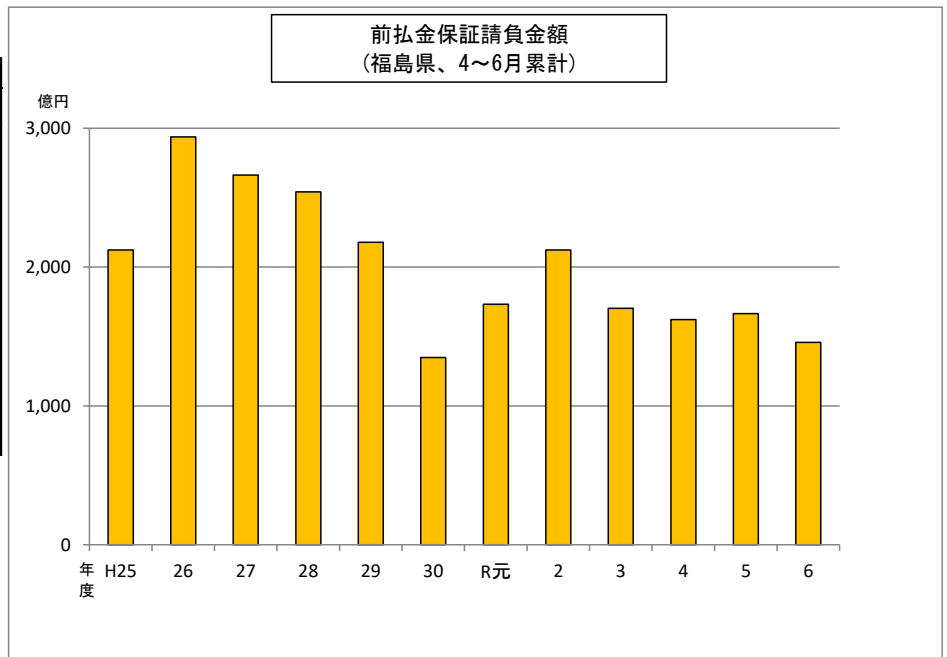
9. その他項目

(1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)で見ると、前年度を下回っている

前払金保証請負金額 (福島県、4～6月累計)		
区 分	前払金保証請負金額	
	億 円	前年同月比%
25 年度	2,124	125.0
26 年度	2,937	38.3
27 年度	2,662	▲ 9.4
28 年度	2,541	▲ 4.6
29 年度	2,179	▲ 14.2
30 年度	1,348	▲ 38.1
元 年度	1,732	28.4
2 年度	2,123	22.6
3 年度	1,703	▲ 19.8
4 年度	1,621	▲ 4.8
5 年度	1,665	2.7
6 年度	1,457	▲ 12.5

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

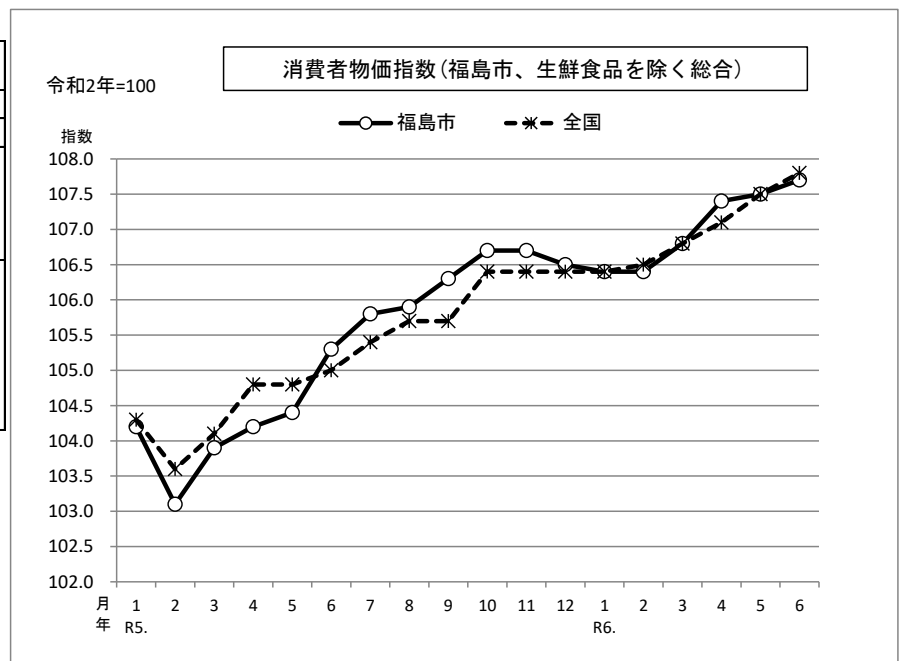


(2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価 (令和2年=100)		
区 分	福 島 市	
	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	前 年 比 %
5 年	105.3	3.1
5. 7-9	106.0	3.4
10-12	106.6	2.7
6. 1-3	106.5	2.7
4-6	107.5	2.8
6. 1	106.4	2.2
2	106.4	3.2
3	106.8	2.8
4	107.4	3.1
5	107.5	3.0
6	107.7	2.3

〔総務省〕



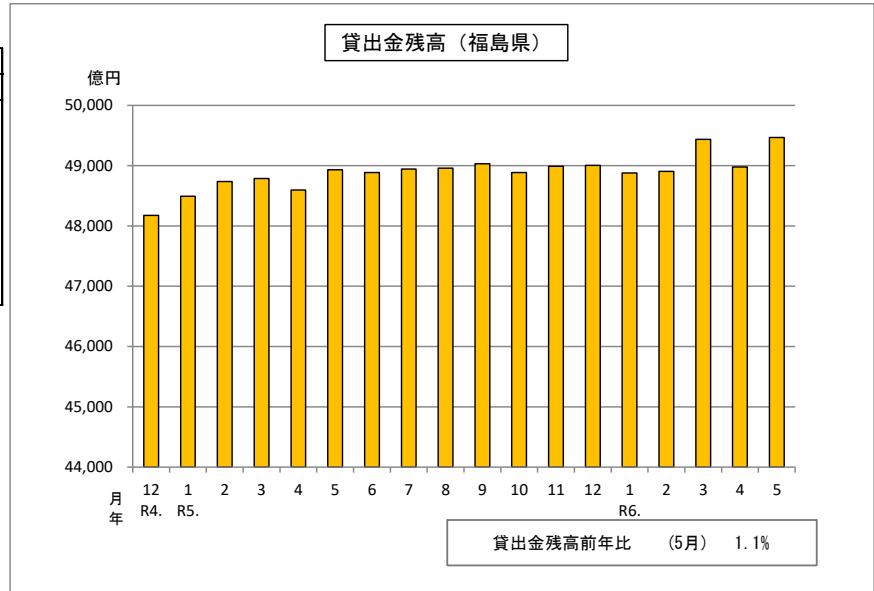
(3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高で見ると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区分	貸出金	
	件数	月末残高(億円)
5.	10	48,888
	11	48,989
	12	49,004
6.	1	48,877
	2	48,904
	3	49,435
	4	48,978
	5	49,466

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(金店分)ベース
 なお、銀行については、オフショア勘定及び
 中央政府向け貸出を除く。
 【日本銀行福島支店】



(4) 企業倒産

件数、負債総額とも前年を上回っている

企業倒産件数・負債総額(福島県)

区分	件数		負債総額		
	件数	前年比%	百万円	前年比%	
5年	80	21.2	13,526	8.4	
5. 7-9	14	▲ 6.7	1,340	▲ 60.3	
	26	23.8	4,247	▲ 5.6	
6. 1-3	30	66.7	4,714	23.4	
	28	27.3	5,080	23.4	
6. 1-6	8	300.0	1,678	519.2	
	2	20.0	1,289	▲ 60.5	
	3	10	66.7	1,747	513.0
	4	8	700.0	795	695.0
	5	12	71.4	2,648	418.2
	6	8	▲ 42.9	1,637	▲ 53.3

〔株〕東京商工リサーチ

